Autodesk® AutoCAD® Civil 3D® 2015 Productivity Pack 1

Autodesk® AutoCAD® Civil 3D® 2015 Productivity Pack 1 をダウンロードいただきありがとうございます

Autodesk® AutoCAD® Civil 3D® 2015 Productivity Pack 1 *は、Autodesk® AutoCAD® Civil 3D® 2015 ユーザに、一連の新しい機能を提供します。*

この Readme には、この Productivity Pack のインストールおよび使用に関する最新の情報が記載されています。ご使用の製品にこの Productivity Pack を適用する前に、この Readme 全体を必ずお読みください。参照用に、このドキュメントをハード ディスクに保存するかまたは印刷することをお勧めします。

この Productivity Pack の主な機能

Autodesk® AutoCAD® Civil 3D® 2015 Productivity Pack 1 は、次の機能から構成されています。

1. 詳細な設計 / 作成タスクについて、**AutoCAD Civil 3D ユーザが Autodesk InfraWorks モデルを直接読み取ることができる**機能
2. ポイント、線分、曲線のエントリとバランスのプロセスを効率化する**座標ジオメトリ エディタ ユーティリティ**
3. **Civil 3D サーフェス モデルとパイプ ネットワークから AutoCAD 3D ソリッド**を作成するための自動プロセス

Autodesk InfraWorks モデルのオープン:

- Autodesk InfraWorks モデルを直接開く機能(Autodesk InfraWorks 2015.3 がインストールされている必要があります)、または .IMX 形式のファイルを開く機能
- Autodesk InfraWorks プロジェクトに基づき、AutoCAD Civil 3D 座標系の設定プロセスを効率化する機能
- モデル要素とスタイル設定の選択を制御する機能
- Autodesk InfraWorks の共通モデル オブジェクトに対する以下のサポート:
    - サーフェス、道路、ユーティリティ、水、カバレッジ エリアの計画
    - 道路(線形 / 縦断)、サーフェス、交差の設計

座標ジオメトリ エディタ:

- 数値入力をリアルタイムのグラフィック フィードバックと組み合わせる新しいユーザ対話機能
- ポイント、線分、円弧、サイド ショットを含む COGO 入力
- 閉合解析および以下を使用して多角測量をバランス調整する機能:
    - コンパス法 / ボウディッチ調整
    - トランシット法
    - クランダル法
    - 既知の線分に回転および尺度変更

- 座標ジオメトリ エディタで作成されたジオメトリから線分とポイントを作成する機能
- 他のユーザとの共有やアーカイブが可能な多角測量ファイルとして保存したり開いたりする機能

AutoCAD 3D ソリッドの作成:

- Civil 3D サーフェスから AutoCAD の 3D ソリッドを作成する機能
  - 固定標高
  - 固定深さ
  - 2 つの Civil 3D サーフェス間
- Civil 3D の重力または圧力管ネットワークから AutoCAD の 3D ソリッドを作成する機能
- 3D プリントと投影座標系を含む下流方向のワークフローで AutoCAD 3D ソリッドを使用できる機能

インストールに関する一般情報

この拡張をインストールする前に、次の点に留意してください。

言語バージョン	この Productivity Pack は、サポートされているすべてのオペレーティング システム上の AutoCAD Civil 3D 2015 の任意の言語バージョンにインストールすることができます。この Productivity Pack は、AutoCAD Civil 3D 2015 の各言語バージョンに対応するように作成されています。それぞれの言語バージョンは、独自のインストレーション ファイルとして提供されます。目的の言語のインストレーションをダウンロードし、インストールしてください。
Service Pack を適用する	すべての AutoCAD Civil 3D ユーザは、Service Pack をダウンロードして適用することを強くお勧めします。この Productivity Pack を適用するには、AutoCAD Civil 3D 2015 SP2(またはそれ以降)がインストールされている必要があります。AutoCAD Civil 3D の旧バージョンにはインストールされません。AutoCAD Civil 3D 2015 Service Pack 2 は、ここからダウンロードできます。
カスタム ファイルのバックアップ	この Productivity Pack を適用する前に、すべてのカスタム CUI、MNR、MNL ファイルをバックアップすることをお勧めします。
管理者権限	インストール中に、元のインストレーション メディアまたはネットワーク上の管理イメージを指定するよう求められることがありますので、事前に準備されることをお勧めします。この Productivity Pack を適用するには、製品をインストールおよびアンインストールするための管理者権限が必要です。
再起動	インストールした後は、プロンプトが表示されなくてもシステムを再起動することをお勧めします。
アンインストール	この Productivity Pack をアンインストールするには、該当する Productivity Pack をコントロール パネルで選択します。すべてのファイルと、メニューを含

	むコマンド アクセス オプションは、除去されます。
オンライン ヘルプ	Autodesk AutoCAD Civil 3D 2015 Productivity Pack 1 のオンライン ヘルプが使用可能です。

インストール
デスクトップに **C3D_2015_PROD_PACK_1_JPN_64.exe** をダウンロードします。ダウンロードしたら、デスクトップで **C3D_2015_PROD_PACK_1_JPN_64.exe** を実行して Productivity Pack 1 のインストーラを起動します。画面上の指示に従い、インストールを完了します。インストールが完了すると、ユーザは AutoCAD Civil 3D ツールボックスを使用して Productivity Pack のコマンドにアクセスできるようになります。[Subscription Extension Manager]ツールボックス カテゴリに新しいエントリが作成されます。

ネットワーク配置
Civil 3D のネットワーク配置に Civil 3D Productivity Pack 1 を追加することができます。

1. Autodesk® AutoCAD® Civil 3D® 2015 の基本配置を作成します。これは、ライセンス情報以外は可能な限りカスタマイズしていない入手したばかりの配置である必要があります。
2. **<配置場所>\<配置名>\Img\x64\Components\<Productivity Pack 名>** にフォルダを作成します。
3. **<配置場所>\<配置名>\Img\x64\Components\<Productivity Pack 名>** に Civil 3D Productivity Pack をコピーします。
4. Civil 3D の配置を最初に作成したワークステーション(管理イメージの場所を指定したフォルダ)で、ツール フォルダを開き、[配置を作成または修正]ショートカット アイコンをダブルクリックします。
5. [配置を修正 > 環境設定 <配置名>]ページの[修正オプション]領域で、[既存の環境設定をテンプレートとして使用し、新しい配置環境設定を作成]を選択します。
6. 配置の新しい名前を指定し、他の設定を確認および変更して[次へ]をクリックします。
7. [配置を作成 > ソフトウェア使用許諾契約]ページで使用許諾契約書を確認し、[次へ]をクリックします。
8. [配置を作成 > 製品情報]ページで、ライセンス情報を確認し、[次へ]をクリックします。
9. [配置を作成 > 環境設定 <配置名>]ページの製品リストで[追加のソフトウェアを含める]をクリックし、[追加のソフトウェア]オプションを開きます。
10. [追加のソフトウェア]で[追加]ボタンをクリックし、Productivity Pack の実行ファイルがある **<配置場所>\<配置名>\Img\x64\Components\<Productivity Pack 名>** フォルダに移動します。
11. [コマンド ライン パラメータ]で「/Q」と入力し、インストールによってサイレント配置が停止しないようにします。
12. 確認を行いその他の変更を加えて、[クリックして、閉じて製品リストに戻ります]をクリックし、[作成]をクリックします。**これらの手順を完了すると、それ以降に配置する Autodesk AutoCAD Civil 3D 2015 には自動的に Productivity Pack が適用されます。